

～目次～

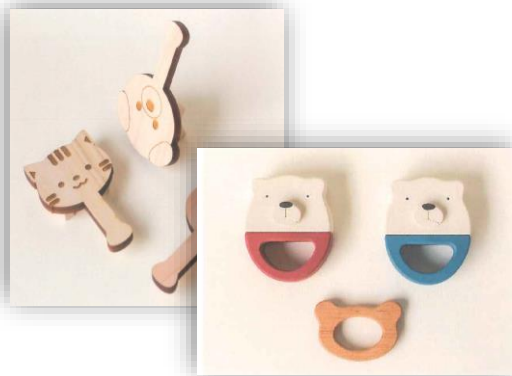
- ・ TOSAZAI センター発足…………… P1
- ・ 商談会事業…………… P3
 - ・ 桜設計集団の定例会
 - ・ 京都鴨川建築塾の勉強会
- ・ 展示会事業…………… P4
 - ・ HIKARI 金沢
 - ・ (株)山木商行
 - ・ 新名木材市売(株)
 - ・ (株)ナゴヤ辻文土佐材フェア
 - ・ 山西プロウッドスタイルフェア
- ・ 高知県木材普及推進協会総会…………… P6
- ・ 高知県林業活性化推進協議会総会…………… P8
- ・ 土佐材流通促進協議会総会…………… P10
- ・ TOSAZAI モデルハウス建設中…………… P12
- ・ JAS 構造材利用拡大について…………… P13
- ・ 高知県木製品工業連合協同組合新事業について… P16
 - ・ 高知大丸木工フェア
 - ・ The first toy
- ・ 本山町からのお知らせ…………… P18
- ・ 住宅着工数、製品市況推移…………… P19
- ・ 木材協会予定(6～7月)…………… P23



(株)山木商行 春の展示即売会



土佐材流通促進協議会総会



The first toy

TOSAZAI センター発足

「林業振興・木材産業の発展なくして県勢浮揚なし」

尾崎知事の力強い想いによって県産材の外商促進に向けた取り組みの支援体制を強化するため、(一社)高知県木材協会内に本年4月、TOSAZAI センターを発足させた。

戦後造成した森林資源が成熟し、その資源を丸ごと使用するべく取り組んでくるなか、合板、CLT、木質バイオマスの需要に伴いB材からD材については一定の需要拡大ができ、今後も期待できるところではあるが、高価格で取引が見込まれる肝心のA材の需要が振るわず今後の課題となっている。そのためA材を中心とした需要拡大を図るために次に示す3つの戦略を柱とし、県産材を「より高く」「より多く」販売するべく外商体制を強化し、木材出荷額を増大させ、ひいては中山間地域へ利益還元できるよう努めていきたい。



●木材協会の体制強化

平成29年度の体制

会長
専務

課長（2名）、担当（1名）
関東駐在（1名） *事業担当〈4名体制〉

課長（1名）

TOSAZAI
センター設置

平成30年度の体制

会長
専務

TOSAZAIセンター

センター長
部長級（2名）、担当（3名）、関東駐在（1名） **〈6名体制〉**

課長（1名）

外商促進に向けた提案・営業活動等を展開

●事業展開

■戦略1 マーケットシェアの拡大【住宅】

・県外市場における外商促進に向け、県内生産体制の整備や流通の改善等の取り組みを展開

■戦略2 新たなマーケットの開拓【非住宅】

・非住宅建築物の木造化を促進するため、新商品と一般製材品をセットで提案・売り込み

■戦略3 新たな活用策の展開【内装材等】

・木材製品の付加価値を高めるため、店舗・マンション内装等に使用する県産材製品（内装、建具、家具等）の開発、製造・販売をサポートする取り組みを展開

●（一社）高知県木材協会の組織

*「TOSAZAIセンター」設置は、3月の理事会にて決定

●TOSAZAIセンター

【販売管理部】

販売管理部長

担当職員

担当職員

センター長

*センター長と販売戦略部長は兼務

【販売戦略部】

販売戦略部長

関東駐在

担当職員

会計課長

組織図

商談会事業

桜設計集団の定例会に参加

京都府での邸別出荷に向けて営業を開始

開催日：平成 30 年 4 月 13 日(金)

場所：京都市中京区二条寺町 延寿堂ビル

参加者:50 人

安井昇先生は全国的にも知られる木材防火の権威で、木造 3 階建て小学校の火災実験を行ったことでも有名な設計士、今年度は高知県林業大学校の講師になっていただいている伝手を使い、京都市内で開催されたセミナーに参加することができた。

6 月 14 日(木)に京都市で「土佐の自然素材で家づくり」商談会の開催を予定しており、今回のセミナーの中で高知県からの告知タイムを設定してもらえた。



京都鴨川建築塾の勉強会に参加

開催日：平成 30 年 5 月 12 日(土)

場所：京都市下京西木屋町通

京都市景観まちづくりセンター

参加者:30 人

鴨川建築塾は木造建築を研究する若手の勉強会。上記と同じく安井先生が講師となる木造建築の防火授業に参加させてもらい、商談会の告知ができた。



展示会事業

(株)HIKARI 金沢 ど真ん中祭り(土佐材ブランドフェア)



北陸地区での拠点である(株)HIKARI ウッドステーション金沢でど真ん中祭りを開催し、その中で土佐ブランド材フェアを開催した。今回は天候にも恵まれたなかで、約 200 人の来場者があり、新規購入会社も数社みられた。全体の売り上げも前年より約1~2割増えたとのこと。土佐材も桧の土台などの一般材、枹材や盤などの役物で約60 m³を展示し、約7割を販売した。北陸などの日本海側の地域は、これまで土台や柱に外材（米松や米

ツガの注入土台、WW 集成管柱など）を使用していたが、外材の高騰で今後桧の土台や柱の需要が見込まれるとの事。今後も HIKARI との協力を得ながら北陸地区での販売促進をすすめていきたい。

(株)山木商行春の展示即売会(土佐材コーナー開設)

今年度新規拠点契約した(株)山木商行で、自社で年に2回開催している春の展示即売会に、西部・高幡両木材センターから購入していただいた約80 m³の製品を展示する土佐材コーナーを開設し、岐阜県で初めてとなる土佐材のPRと展示即売を行った。当日は天気が心配されたが、何とか最後まで雨が降らなかったのも、約800人と多くの来場者が訪れ、売り上げも前年度比で1割以上増加し、展示会は盛況となった。その中で土佐材も約8割近くが売れた他、パンフ・ノベルティ等も配布してPR活動を行った。



新名木材市売(株)土佐材展示即売会



今年度新規拠点契約した新名木材市売(株)で、(株)東海木材相互市場西部市場開設 13 周年記念市に合わせて、第 1 回の土佐材展示即売会を行った。当日は各センターから購入していただいた約 80 m³の製品を出展し、あいにくの天気の中でも約 200 人の買い方が訪れ、展示会は盛況となった。全体的にも売上は前回は上回り、土佐材もほぼ完売となった。また、景品交換所では土佐材のチラシ・ノベルティ・高知のお土産を配布した。今後も新名木材、東海市場の方々と協力しながら土佐材の販売促進につなげていきたい。

(株)ナゴヤ辻文土佐材フェア

昨年度拠点契約した(株)ナゴヤ辻文主催の土佐材フェアを(株)東海木材相互市場、大口市場の新緑記念市のなかで開催した。高知県内の市場やメーカーで購入していただいた杉一般材がメインの約 100 m³の製品を今回は付売り販売し、約 60 人の買い方が参加して市況が弱い中でもほぼ完売した。(辻文売上約 9,000 万)川出社長からは今後も安定的な KD 材の供給や供給数量の増加などの話があった。高知県にとっては大口の取引先になるため、供給対応を含め今後も販売促進を続けていきたい。



山西プロウッドスタイルフェア



販売拡大拠点の(株)山西が年2回(5月・10月)開催する新築・リフォームなど木材住宅関連の展示即売会が開催された。西部・高幡両木材センターから出荷した四万十桧の高知県産桧

役物製品を展示即売した。山西でも最近はや物需要が減ってきていて販売量も減少しているとの事だった。また、今回も木のおもちゃを展示協力し多くの来場者に好評だった。今回は高知プレカットも参加し、2日目にプレカット工場や木造4階建てのツーバイのモデルハウス・非住宅の工法展示を視察した。

高知県木材普及推進協会総会

開催日：平成30年5月9日

場所：高知会館

平成30年度は木と人・出会い館の登録建築士24人が施設運営のサポーターとして、エコ技術を中心に紹介するとともに、高知らしいエコ住宅に関するアドバイザーとして相談に乗りエコ住宅の普及に努める。また、もくもくランドの開催時期としては11月の開催を考慮したが、緑の緑化月間のため今年は10月20日(土)、21日(日)の実施が決定した。天候不良や自然災害時の対応策のマニュアル化を図っていきたい考えである。



さらに『木育』についても焦点が当てられた。『木育』という概念は2004年北海道で制定され2011年にウッドスタート(生まれた赤ちゃんに地産地消の木製玩具を誕生祝い品としてプレゼントする事業や、子育て環境に

地域材をふんだんに取り入れ、木質化・木育化する事業など、計6項目を展開している)が宣言される。2010年には全国で39カ所の自治体が宣言をし、高知県でも『木育を考える会』が発足され、東京おもちゃ美術館の講師を招いた勉強会や木育インストラクターによる体験プログラムの企画を行っているとのこと。

『造林コンクール』については森林造成を支援する事業として今年度も実施。マスコミ等により広報し、実施要領に基づいて審査後優秀事例の森林所有者等に対し表彰をおこなっていく。



平成29年度は大豊町の
西峯地区活性化推進委員
会さんが表彰されました！

平成29年度の事業報告

「木と人出会い館」の活動

- ◎「こうちエコハウス」
- ◎テレビ番組「木と人・出会い館情報」
- ◎15周年記念誌

「その他」

- ◎第13回もくもくランド2017
- ◎高知県造林推進コンクール
- ◎視察研修
- ◎木のおもちゃ貸出事業

平成30年度の事業計画

「木と人出会い館」の活動

- ◎「木と人・出会い館」PR番組等の制作放映

「その他」

- ◎第14回もくもくランド2018
- ◎バスツアー研修会の開催
- ◎伐採跡地の森林造成を支援する事業
- ◎木のおもちゃ貸出事業

高知県林業活性化推進協議会総会

開催日：平成 30 年 5 月 14 日

場所：ちより街テラス(会議室)

昨今景気回復の波が押し寄せていると盛り上がった話も耳にするが、地方にはその波が中々届いていないのが現状。住宅着工数も横ばいとなっており、来年度以降は消費税 10%が待ち構えているため駆け込み需要の拡大は期待されるものの、東京オリンピック後は需要の大幅減少が予想される。そのような中で木材をどのように消費していくかという命題へ非住宅木材利用や一般消費者に対しての継続的な木材PRが問題解決のキーとなってくることがあげられた。



H29 年度の事業報告

高知県産材利用による木材関係者等への支援対策事業

◎四国 88 ヲ所へのベンチ作成…四国四県が連携し、ベンチを設置。高知では 16 ヲ所の設置を行った。

◎電車広告の実施(とさでん交通路面電車)…2017 年 5 月～8 月の 4 ヲ月間、1 日約 9 時間の走行をした。広告内容は『広げよう木づかいの輪』と題し、高知県民への木材利用促進を促した。

◎第 13 回もくもくランド 2017…2 日目が台風上陸の為中止。来場者数は 1 日目の 4 千人であった。今後雨天時や災害時の対策マニュアル化が課題となった。

高知県非住宅建築物木造化推進事業

◎SWP 製品を使用した建築現場での施工調査や平成 28 年度に検討した重ね透かし張りや壁ラーメン構造の継手要素試験、曲げ試験、せん断試験等の実施。

◎内装材等の開発検討を行い、試作品の作成や展示会(もくコレ)での求評活動実施。

H30 年度事業内容計画

◎第 14 回もくもくランド 2018 の実施

◎公共機関(市町村)の建物や事務用品(机等)の木質化

◎公共交通機関(JR 四国)での木質化(吊り具等)…四国四県連携事業

◎非住宅建築物の施工を行い分析の実施…冊子作成予定

◎顔の見える木材での快適空間づくり事業…土佐組子技術を活かした木製品の提案 等々が挙げられた。

県では第 3 期産業振興計画の林業分野成長戦略において、原木生産量を 2019 年に 780,000 m³に増産させることを目標として、森の資源を余すことなく活用することとしています。また、木材需要を拡大させるべく、昨年 3 月に制定された「高知県産木材の供給及び利用の促進に関する条例」に基づき、市町村等の木造建築物建築促進

の借実な実行が課題である。このような目標や状況のもと平成 28 年度林野庁補正事業に引き続いて、平成 29 年度林野庁補正事業及び平成 30 年度林野庁当初予算で地域材需要拡大のための支援対策事業が実施されることになっており、また高知県産業振興計画の重点事業である「非住宅建築物木造化推進事業」についても平成 29 年度に引き続いて、本年度も予算化されており、両事業に実施主体となって取り組む考えである。



土佐材流通促進協議会総会

開催日：平成 30 年 5 月 15 日

場所：ちより街テラス(会議室)

大消費地の工務店や設計士との新規契約を目的とした「土佐の自然素材で家作り商談会」や意見交換会を実施(関西、関東、香川、山口)。土佐材パートナー提携企業も増加となった。展示会事業では土佐材祭りとして県内製材工場から多くの材を出展し、新たに竜野ハウジング(有)・(株)ナゴヤ辻文を拠点に加えた。



H29 年度の事業報告

	消費地商談会事業			展示会事業		拠点開拓連絡調整		輸出事業	
4月	大阪森のギャラリー展示(4/10～5/20)			西部センター1000回市(4/22)		東京中央木材市場(4/18)	センコー東広島PD(4/19)	台湾建築士来訪(4/13～14)	
5月				名古屋山西(5/20～21)		ナゴヤ辻文・HIKARI浜松(5/22)			
6月	香川土佐材パートナー会議(6/7)	関西土佐材パートナー会議(6/22)	大阪商談会(6/22)	HIKARI金沢(6/1～2)	東京中央木材市場(6/21)	丸宇北浜・倉川(6/22～23)	日本住研(6/27)	ベトナム向け輸出セミナー(6/26)	韓国木材輸出支援(6/10～13)
7月	関東土佐材パートナー会議(7/14)	東京商談会(7/14)		福岡扇木材(7/26)		大阪銘木協同組合(7/19)	竜野ハウジング(7/20)		
8月	かがわ家博(8/19～20)					東京中央木材市場(8/23)	(協)東濃地域木材ほか(9/31～9/1)		
9月				岡山扇木材(9/7～8)	HIKARI金沢(9/9)	ナゴヤ辻文・山木商行ほか(9/27～29)			
10月	香川ウッドフェス(10/7～8)	木の家セブン勉強会(10/17)		名古屋山西(10/21～22)				台湾高島屋観光物産展(10/20～31)	米国・インド向け輸出セミナー(10/6)
11月	ジャパンホームショー(11/15～17)			高松太洋(11/2)	丸宇木材市売下館(11/17)				
12月				大阪木材相互市場(12/12)	ナゴヤ辻文東海相互市場(12/15)				
1月	東京モクコレ(1/30～31)								
2月				県内合同市(2/22)高幡センター				韓国KOREABUILD(2/22～25)	
3月	山口商談会(3/8)			岡山扇木材(3/8・9)		東京中央・倉川(3/22～23)	(株)ナゴヤ辻文(15～17)		

2月には県内製材市場(高知木材センター・高幡木材センター・西部木材センター)3社合同による優良土佐材見本市を行い土佐材のPRを行ってきた

また、役物定期便事業では不定期の出荷であったのに対し、現在は関西・中部地域を中心に毎月出荷することで販売数量の増加を目指し、昨年度の出荷材積は508.4447 m³となった。

H30年度の事業計画予定

	消費地商談会事業			展示会事業		拠点開拓連絡調整		輸出事業
4月				2018春HIKARI ウッズステーション 金沢土佐材フェア (4/13)		(株)山木商行土 佐材フェア (4/14)	新名木材市売 (株)土佐材展示 即売会 (4/24)	
5月				ナゴヤ辻文大口 土佐材フェア (5/18)	2018春山西ブル ウッズスタイルフェ ア (5/19~20) 第5回東京中央 木材市場優良高 知土佐材展 (6/20)			
6月	香川パートナー会 議、商談会(6/7)	京都商談会 (6/14)	大阪パートナー会 議、商談会 (6/15)	HIKARI本社移転 記念展示会予定 (6月上旬)				
7月	関東パートナー会 議、商談会(7/19 予定)			第8回福岡扇土 佐材祭り (7/26)		西垣林業(株)名 古屋市場土佐材 展(7/11)		
8月	かがわ家博サン メッセ(8/18~ 19)							
9月				2018秋岡山扇・ 竜野ナイスフェア (9/8~9)	2018秋HIKARI金 沢土佐材フェア (9月中旬予定)			
10月	香川ウッディフェ ス(10/7~8)	大阪森林の市 (10/28)		2018秋山西プロ ウッズスタイルフェ ア (10/21~22)				
11月	ジャパンホーム ショー(11/20~ 22)			第4回高松太洋 木材土佐材祭り (11/2)	第9回丸宇木材 土佐材展 (11/16)			
12月				第3回大阪相互 木材年末謝恩市 (12/12)				
1月	東京モクコレ (1/29~30)							
2月				第9回優良土佐 材見本市(2月下 旬)				コリアビルド2019
3月	瀬戸内商談会 (3/7予定)			2019春岡山扇・ 竜野 ナイスフェア (3/8~3/9)				

今年度は商談会事業では『京都商談会』、展示会事業では『(株)山木商行土佐材フェア』『新名木材市売(株)土佐材展示即売会』『西垣林業(株)名古屋市場土佐材展』を新たに加え、更なる土佐材外商促進に繋げていきたい。



大阪に TOSAZAI モデルハウスを建設中

平成 29 年度の土佐材流通促進協議会、消費地商談会事業(大阪商談会)で始めて知り合った工務店が TOSAZAI を使ったモデルハウスを建築しています。社長は高知県出身ですが、大阪に出てから長い年月、地域に根差した小さな工務店を営んでいました。

6/23 大阪商談会



高知からの突然舞い込んだ案内ハガキを見て、高知県出身の社長が故郷を懐かしく思い参加してくれました。

9/7 大阪の会社を訪問



高知県には優良な木材や漆喰などの自然素材がたくさんあります。補助事業等の説明もおこないました。

11/22 高知県へ産地訪問



社長が高知を訪問、石灰工場と馬路村の製材所を案内しました。

12/6 大阪にて詳細打ち合せ



設計者も交えて木材の見積り等の打ち合わせをしました。

建築予定地を視察



狭小地に木造三階建ての建築を予定

3/14 製材の責任者も現場訪問



納材に問題ないか確認、棟梁からも「いい木だ」と褒めてもらいました。

4/13 高知県の担当者も現地確認



建築現場には TOSAZAI 住宅の旗が掲げられています。
6 月には完成予定です。



JAS 構造材利用拡大事業について

～JAS 材の活用を対象とした補助事業が新たに設定されました～

- ① 構造材に機械等級区分構造用製材 JAS、2×4 JAS、CLT JAS を用いたもの
(高知県内で機械等級区分構造用製材 JAS 認定工場は 6 工場)
 - (1) レイホク木材工業協同組合
 - (2) 有限会社関西木材建設
 - (3) 馬路林材加工協同組合
 - (4) 梶原町森林組合
 - (5) 株式会社吾川森林
 - (6) 高知おおとよ製材株式会社
- ② 非住宅建築物
- ③ 補助を受けるのは主に施工業者(工務店等)であり、事前に JAS 構造材活用宣言を全木連に提出し、登録が必要
- ④ 予算規模は全国で約 13 億円
- ⑤ 交付申請の受付〆切は平成 30 年 12 月 21 日(この時点で上棟していること)
- ⑥ 事務受付窓口は木材協会

※詳しくは林野庁ホームページをご覧ください

次頁、チラシにな
っております



JAS 構造材利用拡大事業

構造部材に JAS 構造材^{※1}を活用する非住宅建築物に対して、構造材の調達費の一部が助成されます。【林野庁補助事業】



JAS 材は、品質・性能がしっかりと表示されている木材です。

木材の品質・性能・大きさ・形状などは「JAS 規格制度」によって一定の基準が定められています。「JAS 規格制度」とは、農林水産大臣が制定した「日本農林規格（JAS 規格）」に基づく品質検査方法・生産方法・流通方法などの基準を満たす商品（飲料食品や林産物など）に対してのみ、JAS マークを付けることが認められている任意の制度です。

つまり JAS マークが付いている木製品は、厳格な審査・管理によって安定した品質・性能を保っていることが証明できます。

事業の目的

本事業の目的は、これまで木材利用が低位であった非住宅分野を中心とする建築物において、品質や性能が明確で構造計算が可能な JAS 構造材を積極的に利用することで、JAS 構造材の格付実績を引き上げ、流通量を拡大することです。

※1：本事業における「JAS 構造材」とは、JAS の格付実績の低い機械等級区分構造用製材・2×4 工法構造用製材（たて継材も含む）・CLT のことを言います。



事業の流れ

本事業は、2つの事業で構成されています。

JAS 構造材 活用宣言

宣言の申請



登録

JAS 構造材 個別実証支援

物件の申請



交付申請



助成金交付

事務局 一般社団法人 全国木材組合連合会

TEL 03-6550-8540 Fax 03-6550-8541

Eメール info@jas-kouzouzai.jp

事業の詳細は裏面をご覧ください。

活用宣言

JAS構造材 活用宣言事業

工務店等木材の実需者や発注者におけるJAS構造材を積極的に活用する機運を高めるため、「JAS構造材活用拡大宣言」を募集し、宣言を行った事業者を登録・公表し、成果の見える化を図ります。

JAS構造材活用拡大宣言(例)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ①実需者 | ②発注者 |
| ・設計者：JAS構造材活用設計宣言 | JAS構造材を活用した店舗拡大宣言 |
| ・工務店：JAS構造材利用率アップ宣言 | ③木材加工業 |
| ・流通業者：JAS構造材常時取扱い宣言 | ・製材業者：JAS構造材増産宣言 |

個別実証支援

JAS構造材 個別実証支援事業

「JAS構造材活用拡大宣言」の登録事業者(建築業者)が、木造非住宅分野を中心にJAS構造材を活用して、他建材から木材への切替を促すなど地域の先例となりうる建築を実証的に行う場合、JAS構造材の調達費の一部を支援します。(予算枠に達し次第締め切ります。)

実証支援の概要

助成対象のJAS構造材	機械等級区分 構造用製材	2×4工法構造用製材 (枠組壁工法構造用製材) (枠組壁工法構造用たて継ぎ材)	CLT (直交集成板)
助成の対象	構造部(住宅部分を除く)の柱・梁桁(トラス含む)・土台に使用されたJAS構造材「機械等級区分構造用製材」の調達費	構造部(住宅部分を除く)に使用されたJAS構造材「2×4工法構造用製材」の調達費	住宅部分を除いた構造部(壁・床・屋根・横架材)に使用されたJAS構造材「CLT」の調達費
実証支援額	※柱材での使用は必須 (一部のみの使用でも可) ①物件申請時に予定していた助成対象木材を使用する床面積に2,000円/㎡を乗じた金額 ②助成対象木材を実際に使用した床面積に2,000円/㎡を乗じた金額 ③助成対象木材の調達費 (JAS構造材の材料費およびそれに係る加工費、運搬費) 上記①と②と③を比べて、低い金額を助成。 (1,000,000円を上限とする。)		①物件申請時に予定していた助成対象木材の材積量に150,000円/㎡を乗じた金額 ②実際に使用した助成対象木材の材積量に150,000円/㎡を乗じた金額 ③助成対象木材の調達費 (JAS構造材の材料費およびそれに係る加工費、運搬費) 上記①と②と③を比べて、低い金額を助成。(15,000,000円を上限とする。)

実証の内容

助成金の交付申請時に、JAS構造材の施工性や課題点等の報告書(レポート)の作成・提出が必要です。

事業の対象物件

建築主が国、都道府県、市町村に該当しないもの。

主要用途が居住専用に該当しないもの。

「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」第2条(2)で定める『国又は地方公共団体以外の者が整備する(1)に準ずる建築物(非住宅物件)』に該当しないもの。

※建築業者と連名で、宣言・登録を行った設計者・木材流通業者(製品市場、プレカット工場等)、製造者(製材工場等)が申請することも可能です。
※実証支援の申請は、1事業者あたり5物件とします。また他の宣言事業者と連名で申請した場合は別事業者とします。
※個別実証支援の助成金交付申請書は、使用したJAS構造材の建方が終了した後に提出できます。
※助成金交付申請書の最終受付の締め切りは、平成30年12月21日までとします。

JAS構造材利用拡大事業

検索

<https://www.jas-kouzouzai.jp/>

ホームページで、「JAS構造材利用拡大事業」の概要・応募方法の解説・公募要領や申請様式のダウンロード・JAS構造材活用拡大宣言事業者の公表などを詳しく紹介しています。



高知県木製品工業連合協同組合新事業について

高知大丸木工フェア

高知大丸にて今年も木工連
会員の皆さんが出品されま
す！是非お立ちより下さ
い！！応援よろしくお願い致し
ます♪



木の こころをつたえる 高知の木工フェア

主に高知県産木材を使った商品の
展示販売を行います

6.16(土)・17(日)

木育インストラクターによる
ワークショップ開催

- ・マイお箸作り ¥670(税別)
- ・木のペンダント作り ¥400(税別)

午後
4時まで
随時実施

2018

6.14(木) - 19(火)

午前10時～午後7時 ※最終日午後4時まで

高知大丸
5階イベントスペース

〒780-8566 高知市帯屋町 1-6-1

四万十町森林組合大正集成材工場

鳴子工房こだかさ(社会福祉法人 小高坂更生センター)

榎工房 かやの森(株式会社 高知前川種苗)

木礼塾(湯浅)

(株)なかよしライブラリー

(株)イータスインザルーム

(株)ミロクテクノウッド

(株)コスモ工房

(株)土佐龍

(有)戸田商行



主催
高知県木製品工業連合協同組合
〒780-0801 高知市小倉町 2-8
TEL: 088-882-0298
www.k-kenmoku.com/mokukouren



The first toy

高知県では今年度、新規に木育推進事業を開始しました。

市町村が、乳幼児（0～3 歳児）に、県産材を使用して作成したおもちゃや食器等を提供する経費を、1/2 以内で補助する事業です。

高知県木製品工業連合協同組合では、その事業に会員が作る商品を提案すべく、9 会員に絞ってカタログを作成しました。

すでに、高知県と全市町村には配布済みです。

小さなお子様のいる方は是非チェックを！！



本山町役場からのお知らせ



白髪山 モニターツアー に登ろう!

中級者向け

日時／平成30年6月9日(土) 8時～16時00分 雨中止

本山町北部に位置する標高1,470mの白髪山。白髪山は古くから天然ヒノキの美林として知られ、大正4年に学術参考保護林、平成2年に林木遺伝源保存林に設定され、県立自然公園にも含まれています。

山頂から南に本山町を一望でき、西には早明浦ダム、石鎚山系の山並みを遠望できます。また、ヒノキ等の樹木が立ち枯れし白く残った白骨林も見ることができます。初夏の登山を一緒に楽しみましょう。



モニターツアー

- 内容** 8:00さくら市下吉野川ふれあい広場集合⇒9:30登山口⇒12:00白髪山頂上(昼食)⇒14:30下山⇒16:00さくら市下吉野川ふれあい広場到着、解散
※「⇒」は車移動「」は徒歩
- 集合場所** さくら市下吉野川ふれあい広場 **ガイド** 本山町元気クラブ登山部
- 定員** 10名 **参加費** 1,500円(昼食代「もとやま弁当」)
- 持参物** 雨具、水筒、軍手、帽子
※本コースは標高差400mの中級コースです。岩場も多いため、登山靴での参加をお願いします。
- 参加条件** 登山経験者又は普段運動をされている方
※登山靴が新しい場合は、当日までに足に馴染ませておいてください。

「もとやま弁当」付き!



お申込み 電話・FAX・email・郵便のいずれかでお申込みください。

申込み時には、

①氏名②ふりがな③生年月日④住所⑤連絡先(携帯電話等)をお知らせください。
なお、集合場所までは各自で移動をお願いします。申込数が定員を超えた場合は抽選となります。
抽選結果は、発送を持って代えさせていただきます。

お問合せ先

〒781-3692 高知県長岡郡本山町本山504 本山町役場 まちづくり推進課 担当:田中
TEL 0887-76-3916 FAX 0887-76-2943 E-mail koryu@town.motoyama.lg.jp

申込締切
平成30年
5月31日
木



「平成30年度緑の募金公募事業」この事業は、緑の募金を活用して実施しています。

住宅着工情報・製品市況

資料(1)全国住宅着工戸数

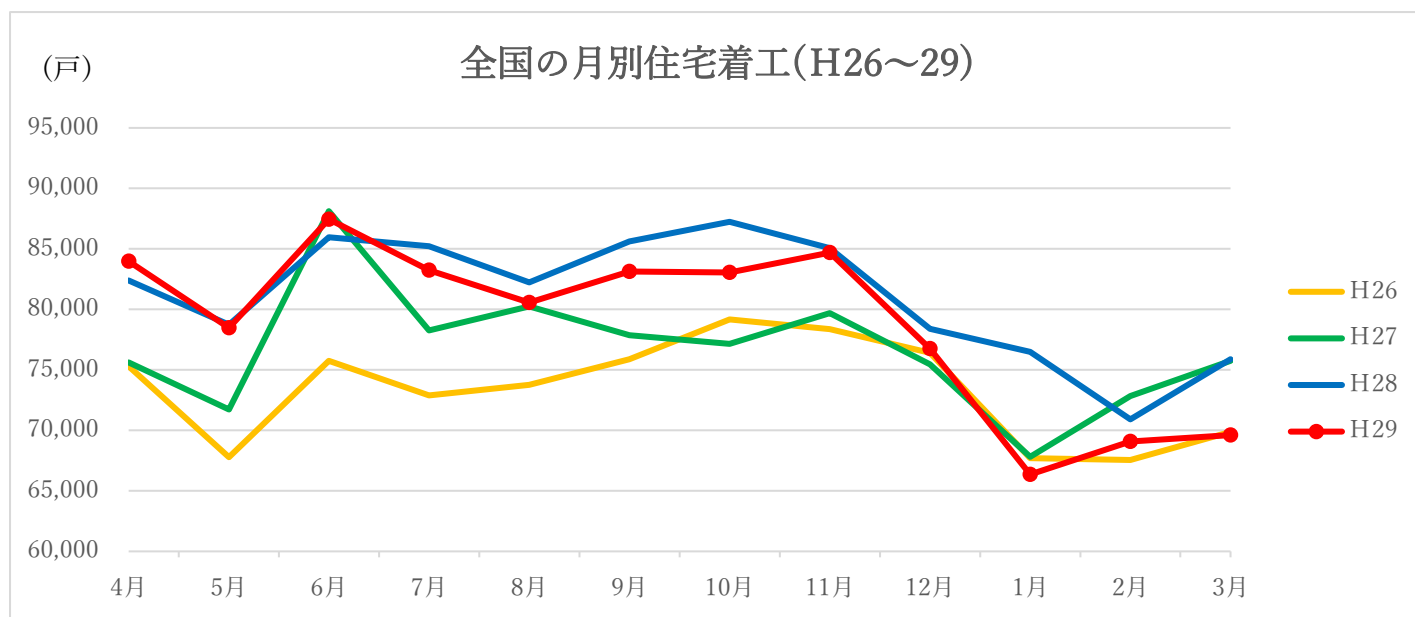
政府統計資料による

平成30年 3月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

(単位：戸、%)

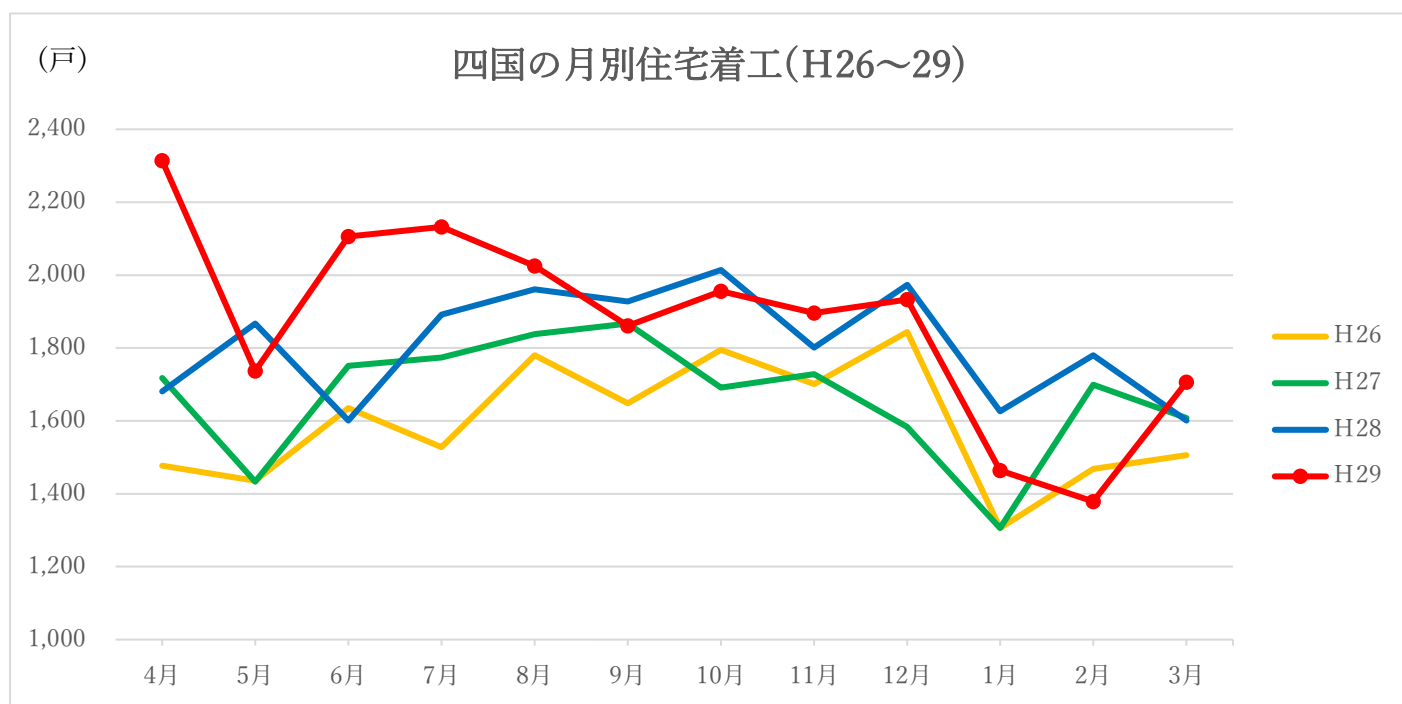
	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年	戸数	対前年	戸数	対前年	戸数	対前年	戸数	対前年	戸数	対前年	戸数	対前年
		同月比		同月比		同月比		同月比		同月比		同月比		同月比
北海道	2,813	7.7	700	0.3	1,736	4.9	5	-82.8	372	61.0	204	292.3	168	-2.9
青森	432	-2.9	237	-7.1	106	-27.9	30	1,400.0	59	43.9	0	0.0	49	19.5
岩手	563	10.2	305	-5.6	212	35.9	0	-100.0	46	48.4	0	0.0	46	48.4
宮城	1,361	-16.4	449	-20.2	651	-19.2	1	-98.2	260	27.5	0	0.0	252	24.1
秋田	280	-13.0	210	-13.6	27	-49.1	1	0.0	42	68.0	0	0.0	42	68.0
山形	535	72.6	217	12.4	186	204.9	11	-15.4	121	181.4	66	-	55	27.9
福島	810	-30.9	423	-16.7	265	-47.2	7	600.0	115	-29.0	0	0.0	115	-29.0
茨城	1,279	-25.8	648	-8.6	364	-50.4	5	-68.8	262	-1.1	0	0.0	258	-2.6
栃木	1,171	-3.1	512	15.1	363	-31.6	1	-	295	27.2	66	-	229	-1.3
群馬	957	-18.9	475	-10.9	277	-25.5	0	0.0	205	-25.5	0	-100.0	205	32.3
埼玉	3,863	-8.7	896	-14.9	1,475	-23.6	2	-50.0	1,490	19.8	533	237.3	957	-10.7
千葉	2,639	-27.8	744	-6.9	1,119	-26.2	3	-72.7	773	-41.8	86	-83.7	682	-14.8
東京	11,673	-8.0	1,174	-4.8	5,933	-3.9	70	105.9	4,496	-14.4	2,877	-16.2	1,573	-11.0
神奈川	5,006	-18.0	1,034	-3.5	2,147	-25.0	3	-99.2	1,822	1.4	354	-27.5	1,385	9.1
新潟	872	9.8	493	2.3	284	25.1	3	200.0	92	9.5	0	0.0	92	9.5
富山	585	11.0	319	16.0	227	6.6	2	100.0	37	-2.6	0	0.0	37	-2.6
石川	578	-5.7	319	19.0	183	-35.8	0	-100.0	76	43.4	0	0.0	71	34.0
福井	387	-4.9	195	-22.3	166	37.2	0	-100.0	26	-23.5	0	0.0	26	-23.5
山梨	378	-19.7	240	18.2	94	-31.4	0	0.0	44	-66.4	0	-100.0	44	-13.7
長野	928	23.2	464	3.6	264	22.2	0	-100.0	200	138.1	89	-	111	35.4
岐阜	845	21.2	447	10.9	189	-1.0	3	-	206	100.0	56	-	150	45.6
静岡	1,483	-17.9	828	-3.4	366	-22.9	4	-80.0	285	-37.2	82	-61.3	203	-16.1
愛知	4,967	-10.9	1,477	-8.3	1,947	-16.0	28	211.1	1,515	-7.3	501	-5.1	993	-9.2
三重	664	-22.5	381	4.7	166	-56.8	4	300.0	113	4.6	34	-	79	-26.9
滋賀	821	25.3	302	-5.0	347	68.4	4	-	168	28.2	50	-24.2	118	81.5
京都	1,070	6.7	386	14.5	412	-3.3	3	-	269	12.1	49	-	220	-8.3
大阪	5,372	-22.6	838	-4.8	2,659	-26.1	30	-70.6	1,845	-22.0	1,043	-32.1	793	-2.7
兵庫	2,750	14.4	742	-8.3	989	6.3	2	-	1,017	53.2	512	119.7	505	17.2
奈良	483	-2.8	195	0.0	152	-7.9	0	0.0	136	-0.7	0	0.0	136	-0.7
和歌山	292	0.0	155	-13.9	96	7.9	0	0.0	41	78.3	0	0.0	41	78.3
鳥取	224	29.5	120	-6.3	89	206.9	2	-85.7	13	550.0	0	0.0	13	550.0
島根	213	-2.3	131	-5.1	70	-5.4	2	-	10	66.7	0	0.0	10	66.7
岡山	1,007	-12.7	342	-27.4	472	-3.1	2	-	191	-2.6	98	12.6	93	-14.7
広島	1,602	15.2	393	-4.1	763	46.4	1	-	445	-3.3	194	-23.6	251	21.8
山口	768	23.5	260	7.9	278	11.6	5	400.0	225	71.8	147	98.6	78	36.8
徳島	362	13.8	161	-4.7	176	26.6	0	-100.0	25	177.8	0	0.0	25	177.8
香川	585	36.0	228	11.2	253	102.4	2	-	102	2.0	39	-46.6	63	133.3
愛媛	525	-2.8	303	14.8	112	-53.3	0	0.0	110	205.6	70	-	40	11.1
高知	234	-19.3	135	20.5	77	-34.2	0	-100.0	22	-60.7	0	-100.0	22	57.1
福岡	2,974	-16.8	705	-13.2	1,530	-30.4	6	-25.0	733	31.8	394	157.5	339	-15.9
佐賀	314	-25.4	147	-18.3	141	-30.5	1	0.0	25	-32.4	0	0.0	25	-32.4
長崎	541	-1.6	224	3.2	281	-6.3	12	500.0	24	-22.6	0	0.0	24	-22.6
熊本	1,577	44.7	629	11.3	559	119.2	3	-75.0	386	49.6	271	40.4	109	67.7
大分	490	-2.6	203	-22.2	251	41.8	1	-92.3	35	-32.7	0	0.0	35	-32.7
宮崎	544	9.7	264	1.1	220	26.4	0	-100.0	60	0.0	0	0.0	60	0.0
鹿児島	546	-16.1	341	6.6	118	-38.5	7	40.0	80	-40.3	0	-100.0	80	35.6
沖縄	1,253	-8.9	185	-10.6	958	-1.5	5	66.7	105	-45.3	50	-69.5	55	96.4
合 計	69,616	-8.3	20,576	-4.2	29,750	-12.3	271	-64.1	19,019	-3.6	7,865	-8.0	10,957	-0.8
北海道	2,813	7.7	700	0.3	1,736	4.9	5	-82.8	372	61.0	204	292.3	168	-2.9
東北	3,981	-9.3	1,841	-11.7	1,447	-16.1	50	-31.5	643	27.1	66	-	559	10.7
関東	27,894	-12.9	6,187	-4.7	12,036	-16.9	84	-81.1	9,587	-9.6	4,005	-16.7	5,444	-4.4
北陸	2,422	3.5	1,326	3.9	860	1.7	5	-50.0	231	10.5	0	-	226	8.1
中部	7,959	-10.9	3,133	-3.2	2,668	-20.8	39	30.0	2,119	-7.8	673	-9.1	1,425	-7.9
近畿	10,788	-8.5	2,618	-3.7	4,655	-14.0	39	-61.8	3,476	-2.4	1,654	-9.9	1,813	6.0
中国	3,814	7.2	1,246	-10.2	1,672	22.9	12	-20.0	884	11.2	439	5.8	445	17.1
四国	1,706	8.1	827	10.3	618	-0.5	2	-66.7	259	28.9	109	-5.2	150	74.4
九州	6,986	-4.1	2,513	-3.9	3,100	-11.4	30	-28.6	1,343	19.1	665	58.0	672	-5.0
沖縄	1,253	-8.9	185	-10.6	958	-1.5	5	66.7	105	-45.3	50	-69.5	55	96.4
首都圏	23,181	-13.1	3,848	-7.4	10,674	-14.5	78	-81.6	8,581	-10.8	3,850	-16.4	4,597	-6.4
中部圏	7,959	-10.9	3,133	-3.2	2,668	-20.8	39	30.0	2,119	-7.8	673	-9.1	1,425	-7.9
近畿圏	10,788	-8.5	2,618	-3.7	4,655	-14.0	39	-61.8	3,476	-2.4	1,654	-9.9	1,813	6.0
その他地域	27,688	-2.8	10,977	-3.4	11,753	-7.2	115	-42.2	4,843	14.0	1,688	23.5	3,122	8.7

資料(2) 全国月別住宅着工数(平成 26 年 4 月～平成 30 年 3 月)



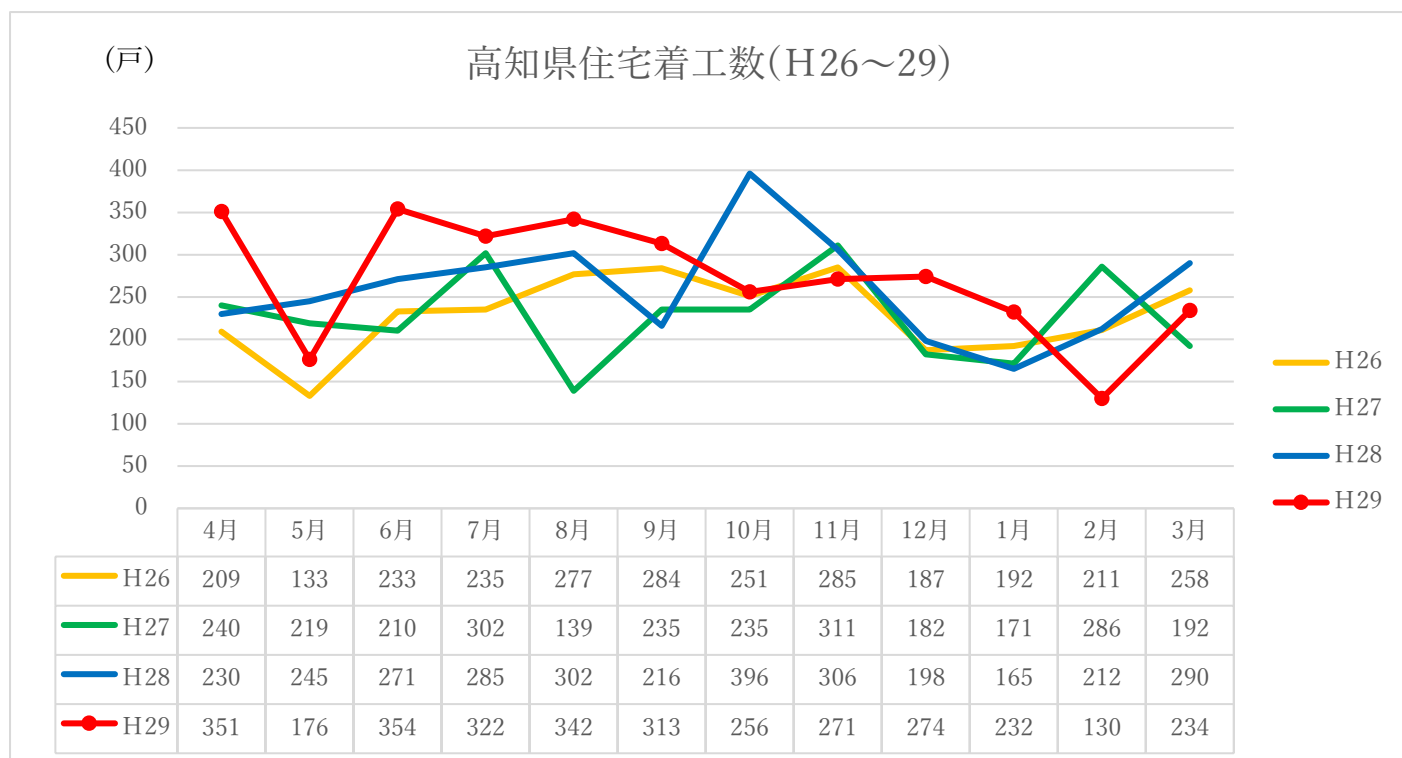
平成 30 年 3 月の全国月別住宅着工数は 69,616(戸)と前年度同月の 75,887(戸)と比較すると 8.3%の減少となった。持ち家は 20,576(戸)と 4.2%の減少。貸家は 29,750(戸)と 12.3%の減少。分譲では 19,019(戸)の 3.6%減少、うち、分譲マンション 7,865(戸)と 8%の減少、分譲一戸建ては 10,957(戸)の 8%減少。持ち家から分譲に至るまで全ての数値で前年度を下回った。また平成 30 年 3 月の月別住宅着工数はここ 4 年間の住宅着工数が最も低値であった平成 30 年 1 月の住宅着工数 66,358(戸)からは 4.9%の上昇率となった。

資料(3) 四国の月別住宅着工数(平成 26 年 4 月～平成 30 年 3 月)



平成 30 年 3 月の四国月別住宅着工数をみると、1,706(戸)と前年度と比較して 8.1%の上昇となっている。また持ち家は 827(戸)+10.3%。貸家は 618(戸)-0.5%。分譲は 259(戸)+28.9%となっており、そのうち、分譲マンションは 109(戸)の-5.2%。分譲一戸建ては 150(戸)+74.4%と、分譲一戸建ての伸び率が高い値を示している。

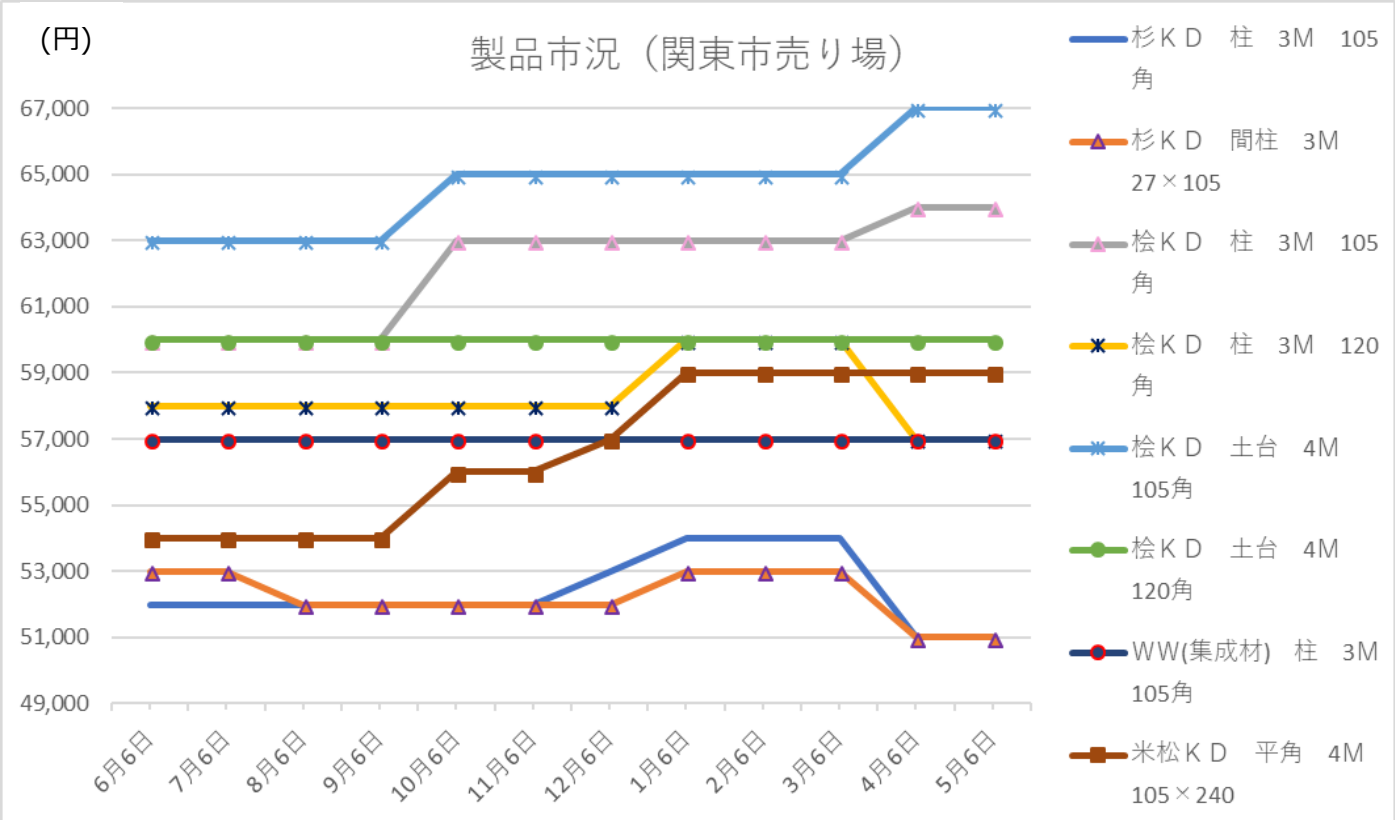
資料(4) 高知県の月別住宅着工数(平成 26 年 4 月～平成 30 年 3 月)



平成 30 年 3 月の高知県住宅着工数は 234(戸)と前年度と比較して 19.3%の減少。持ち家は 135(戸)の +20.5%。貸家は 77(戸)の -34.2%。分譲は 22(戸)の -60.7%でそのうち、分譲マンションは 0(戸)。分譲一戸建ては 22(戸)の +57.1%となった。また、分譲マンションは平成 29 年の 11 月以降 0(戸)を推移しており、持ち家や分譲一戸建てが高知県の住宅着工数を後押ししている形となっている。



資料(5) 製品市況(関東市売り場)



木協建材ウィークリーより



木材協会予定(6月～7月)

6月上旬予定	HIKARI本社移転記念展示会	展示会事業
6月7日	香川県パートナー会議・商談会	商談会事業
6月14日	京都商談会	商談会事業
6月14～19日	高知大丸TOSAZAIフェア	木工連
6月15日	大阪パートナー会議・商談会	商談会事業
6月20日	第5回東京中央木材市場優良高知土佐材展	展示会事業
7月11日	西垣林業(株)名古屋市場土佐材展	展示会事業
7月19日(予定)	関東パートナー会議・商談会	商談会事業
7月26日	第8回福岡扇木材土佐材祭り	展示会事業

まだ確定していない予定もありますので、
遠慮なくお問い合わせください！



(一社)高知県木材協会

〒780-0801 高知県高知市小倉町 2-8

TEL 088-883-6721 FAX088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com/>